



再発見

伊賀市〈いがまち地区〉

豊かな山に囲まれた歴史と文化が息づく山里の町

ふるさと再発見の第十九回目は、伊賀市のいがまち地区です。市北東部に位置するこの地区には、大和街道がとおり、大和(奈良)へと続く道として人々が行き交いました。現在もJR関西本線と、名阪国道、国道25号線が東西を走り、山に囲まれた静かな里の風景に出会うことができます。俳聖・松尾芭蕉の生誕地説にちなみ、地区8か所に投句箱を設置。旅先で一句ひねるのも楽しみです。

今回は清々しい山の自然と、文化が薫る里の魅力をご紹介します。



山の中腹にある古刹と清々しい山の自然

名阪国道「上柘植」インターチェンジを降りるところから、今回の旅がはじまります。伊賀コリドールロードを南下すると、霊山寺への道標があります。矢印に

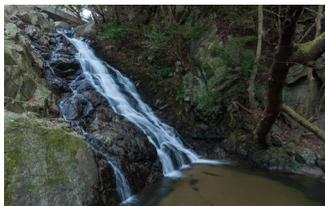
い、山沿いの道を上っていくと、白藤滝の大きな看板が現れます。滝の下り口には、簡素な木の門があります。そこから石段を下りると、赤い橋と滝が見えてきます。落差約15メートルの直瀑で、夏は涼を取り、秋は滝と紅葉が織り成す景色を楽しむことができます。さらに上流へ



白藤滝では滝壺の近くまで行ける



霊山寺では石仏群を見ることが出来る



布がたなびくように流れる二位の滝



広大な芝生広場がある余野公園



5月中旬に咲く余野公園のツツジ*



企画展もある柘植歴史民俗資料館



徳川 家康ゆかりの徳永寺

行くと、二位の滝があります。ここでは、岩肌を滑るようにして流れる滝を見ることが出来ます。山の自然を堪能したら、伊賀コリドール

余野公園は、鈴鹿国定公園特別地域に指定されている自然公園です。桜をはじめ、アジサイや萩など四季をとおして花が咲き、「みえの樹木百選」にも選定されたアカマツの大木も見ることが出来ます。また、約1万5000本のツツジが自生する、関西随一のツツジの名勝地としても知られています。毎年5月第2日曜日にはつつじ祭が行われ、県外からも多くの人が訪れます。

再び、伊賀コリドールロードを南下して市街地へ向かいます。松尾芭蕉の生誕地説のあるこの地区には、歴史や文化を語る名所が点在しています。まずは、柘植歴史民俗資料館へ足を運びます。常設展では、明治から昭和30年代の、生活や仕事に使われていた道具が展示されていて、昔の日常を垣間見ることが出来ます。また、俳聖・松尾芭蕉や、文豪・横光利一の資料もあり、地域が生んだ偉人の歩みや功績を知ることができます。近くの柘植小学校の横に、徳永寺があります。本能寺の変において、堺にいた徳川家康が命からがら伊賀越えをして岡崎に帰る途中、この寺へ休息に立ち寄り

ルロードを戻り、滋賀県境の余野公園へ向かいます。

ツツジで有名な自然公園と歴史と文学に親しむ里

従い進み、突き当たりを左へ折れると、その先に霊山寺があります。霊山の中腹にあり、平安時代前期に最澄により開かれたのが始まりと伝えられています。本堂の右手にあるオハツキイチヨウは、葉の上に実を結ぶ珍しいもので、県の天然記念物に指定されています。周辺には約

500本のソメイヨシノが植えられています。伊賀地域のなかでも例年遅く開花し、4月第2日曜日には境内で桜まつりが開かれます。霊山寺前には白藤滝への案内板に従



オハツキイチヨウの大木*



葵の紋が入った徳永寺の瓦(展示用)



説明碑も建つ横光利一の心のふるさと公園



曹洞宗の寺院。松尾 芭蕉の菩提寺・万寿寺



芭蕉公園(福地城跡)入口あたりの石段



石垣などの遺構が残る芭蕉公園(福地城跡)

ました。その時の礼として、後年、葵の紋の使用が許されたといわれています。屋根の軒先の瓦に、その紋を見ることが出来ます。

伊賀コリドールロードと国道25号線が交差する付近に、利一誕生100年を記念して造られた横光公園があります。いがまち地区ゆかりの文豪・横光利一は、

川端康成らとともに、新感覚派の中心的存在として、新しい文学の世界を切

り開いた作家です。母の実家があるこの地・柘植で、小学校時代の大半を過ごした横光少年。晩年に執筆した未完の作品『洋燈』は、柘植が舞台とされています。また、利一が住んだ屋敷跡には横光利一の心のふるさと公園「跳ね釣瓶の庭が整備されました。短編『笑はれた子』に書かれた跳ね釣瓶は、この家の井戸だろぅと推測されていて、彼の面影を偲ぶことができます。

松尾 芭蕉ゆかりの地を訪ね 静けさのなかで古をしのぶ

国道25号線を東へ進んで橋を渡り、す

ぐの道を右に折れると、芭蕉公園への入口があります。その先にある万寿寺は松尾家の菩提寺で、境内には芭蕉生家の墓碑が建っています。芭蕉の命日の旧暦11月12日は、芭蕉の遺徳を偲び「しぐれ忌」が催されています。

さらに奥へ行くと、芭蕉公園(福地城跡)の入口に突き当たります。ここは伊賀有数の豪族・福地氏が戦国時代に築いたとされる城跡で、芭蕉の先祖が福地氏の一族ともいわれていることか



霊山寺の投句箱。年4回、優秀作品の選出も



松尾 芭蕉の名句を刻んだ「臍(へそ)の句碑」

みどころ ちょっと足を延ばして。 霊山(標高765.8m)

霊山は、室生赤目青山国定公園の特別地域に指定されています。霊山寺の釣鐘堂の横に登山口があり、ウォーキングコースが整備されています。自然のなかを山頂まで登ると、伊賀盆地が見渡せます。



登山道では石仏群や四季の自然に出会える

問 いがまち観光振興会

TEL 0595-45-8488

●表紙写真 四日市市立博物館・プラネタリウム(四日市市)